

平成29年度 数学科 授業改善推進プラン

大田区立蓮沼中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・第2、第3学年において、昨年度より目標値を上回る結果となった。

(2) 課題

- ・復習を中心とした家庭学習の習慣化
- ・基本的な計算力の定着
- ・数学的思考力の向上

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	平成29年度結果	平成28年度結果	平成27年度結果
第1学年	目標値より1.3ポイント下回った。		
第2学年	昨年度に比べ、13.1ポイント上昇し、目標値を6.8ポイント上回った。	目標値より4.6ポイント下回った。 (第1学年時)	
第3学年	昨年度に比べ、7.3ポイント上昇し、目標値を7.3ポイント上回った。	目標値より3.0ポイント上回った。 (第2学年時)	目標値より1.7ポイント下回った。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を3.6ポイント下回った。	目標値を1.9ポイント下回った。	目標値を2.5ポイント下回った。	目標値を4.6ポイント下回った。

② 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
昨年度に比べ、1.2ポイント上回り、目標値を2.2ポイント上回った。	昨年度に比べ、0.4ポイント下回り、目標値を2.0ポイント上回った。	昨年度に比べ、2.5ポイント上回り、目標値を1.1ポイント上回った。	昨年度に比べ、0.7ポイント下回り、目標値を4.1ポイント上回った。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
昨年度に比べ、昨年度に比べ、3.5ポイント上回り、目標値を4.0ポイント上回った。	昨年度に比べ、1.0ポイント上回り、目標値を3.3ポイント上回った。	昨年度より6.7ポイント上回り、目標値を0.9ポイント上回った。	昨年度より2.2ポイント下回り、目標値を6.2ポイント上回った。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
苦手意識の高い生徒を中心に、授業における基本的な学習習慣の定着や家庭学習の習慣化を繰り返し呼びかけていく。	授業を通して、表やグラフを正しく読み取り、説明する場面を設けることで考える機会を増やす。	計算時には必ず途中式も書かせるなど、計算結果はもちろんだが計算の過程を大切にした指導を行う。	単元ごとに単元テストを実施し、基本事項の確認を行い、基礎基本の知識の定着を目指す。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
家庭学習の習慣化を促し、さらなる学習意欲の向上を目指す。	ただ公式を覚えるだけでなく、その公式が成り立つ理由の検証を行うなど、考える場面を増やす。	第1学年での学習内容に課題が見られる生徒には別途対応し、学力の底上げを目指す。	短期記憶になってしまいがちなため、ステップ学習や課題等を利用して、知識の定着を目指す。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
学習に意欲的に取り組んでいる生徒が多い。基礎基本の定着を目指し、さらなる向上を目指す。	答えを導くためには何が必要なかを考えさせながら入試問題やステップ学習に取り組み、論理的思考力を育む。	計算ミスも見られることから、計算をより早く、より正確にこなせるよう、小テストや単元テストを活用する。	基礎基本の定着を目指し、ステップ学習や入試問題を活用する。